

植物群落(単一)

カテゴリー変更及び理由【植物群落(単一)】

群 落 名	旧 群 落 名	宮城県RL 2021	宮城県RDB 2016	変更	カテゴリー変更の主な理由
浜市のハマナス群落		4	D	変更	2011年3月の大津波で消失したとみなされたものの、自然度の高い砂地と植生が再生し、ハマナスも見いだされたため。
大谷海岸のハマナス群落		4	D	変更	2011年3月の大津波で消失したとみなされたものの、砂地と砂浜植生の保全対策に伴い、ハマナスも見いだされたため。
石巻桂島のタブノキ群落		2	1	変更	ニホンジカによる食害が散見され、今後、林床植生の減少や高木種の更新阻害が懸念されるため。
小出島のタブノキ群落		4	1	変更	ニホンジカによる食害が顕著で、林床には不嗜好植物がわずかに見られるに過ぎず、タブノキ後継木もほとんどない。今後、さらなる群落の荒廃が懸念されるため。
出島のタブノキ群落		2	1	変更	道路工事による伐採と生育地改変で、群落の面積が減少しているため。今後、さらなる消失が懸念される。
大島のアカガシ群落		4	2	変更	実生移植等の保全対策がなされたものの、道路工事による伐採と生育地改変で群落のほとんどが消失したため。
巨釜半造のクロマツ群落		4	2	変更	松くい虫病によってほとんどのクロマツが立ち枯れ、クロマツ群落としては壊滅状態にあるため。クロマツ苗木の植栽による再生活動も行われている。
富山観音のモミ・イヌブナ群落		2	3	変更	温帯混交林自体は、全体が保全されているため。ただし、近隣の二次林では、ナラ枯れ病で立ち枯れたコナラが点在することから、感染拡大に留意する必要がある。
東成田のモミ・イヌブナ群落		3	2	変更	谷奥の斜面崩壊に伴う災害復旧工事で、砂防ダムの建設と重機の走行がなされ、早春植物を主体とする谷底域の植生が大きく破壊されたため。
牧の崎のモミ・スギ群落		3	2	変更	強風による高木の倒壊・枯死とニホンジカによる食害が顕著であるため。今後、さらなる群落の荒廃が懸念される。
黒沢山のイヌブナ群落		3	2	変更	ニホンジカによる食害が顕著で、高木種の後継木を含めて、林床植物が極めて少ないため。今後、さらなる群落の荒廃が懸念される。
籠峰山のシバ群落		3	4	変更	保全対策がなされ、鉄塔工事によって裸地化した場所でも指標植物を含む草原植生の回復が認められたため。
横川のオオバヤナギ群落		4	3	変更	指定領域とその近隣を踏査したものの、オオバヤナギ群落の確認できなかったため。砂防ダムが造られたことで、オオバヤナギのハビタットが失われてしまったとも考えられる。
保呂内沢のハルニレ群落		2	1	変更	シロヤナギ等が優占し、ハルニレはごくわずかであったため。砂防工事が進み、ハルニレのハビタットが失われていることも考えられる。
砂生田沢のミズバショウ群落		2	1	変更	ミズバショウの株数が減少しているため。イノシシによる掘り起こし跡があり、今後、さらなる群落の荒廃が懸念される。
野蒜のハマナス群落		4	-	新規	防潮堤の復興工事に伴い、発見・保全された群落。群生地が少ない県内では貴重であるため。
桂島のハマナス群落		3	-	新規	復興工事がなされた砂浜に近接するハマナス群落。群生地が少ない県内では貴重であるため。